

令和4年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録 (46冊)



「道民家庭の日」
イメージキャラクター
ほーほーくん

公益財団法人 北海道青少年育成協会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL.(011)231-6451 FAX.(011)231-6457
ホームページ: http://www.ikuseikyjo.jp/
Eメール: youth@ikuseikyjo.jp

幼児の部	ジェシカといっしょ [徳間書店] 1,760円 ケビン・ヘンクス(作・絵) <p>小さな女の子のルーシーには、大好きなジェシカがいつも一緒にいます。「ジェシカなんて子はいないよ」と言われるけれど、心の中の友だちと上手に遊び、共に過ごし、いろんな気持ち乗り越えます。子どもたちに寄り添い、温かく心の機微を描く絵本。</p>	4ひきのちいさいおおかみ [徳間書店] 1,980円 スベンヤ・ヘルマン(文) ヨゼフ・ヴィルコン(絵) <p>星のきれいな静かな夜に、4ひきのオオカミの子どもたちが、初めて巣穴の外へ出て森の中を冒険します。森の中は新鮮さと感動に溢れ、オオカミの子どもたちの冒険心を満たします。子どもたちが一緒になってドキドキしたり安堵したりする様子が目に浮かぶ絵本。</p>
	きみとぼくがつくるもの [ほるぷ出版] 1,760円 オリヴァー・ジェファーズ(作) <p>「大丈夫。前へ進む道は一緒につくっていけばいい。計画を立て、疲れたら休めばいい。親と子は、手を取り合って生きていく仲間なのだから。」不確かな未来を歩き始めた全ての子どもたちに向けたメッセージを、ユーモアをこめて温かく描いた絵本。</p>	しりとり [福音館書店] 990円 安野 光雅(作) <p>安野光雅流のしりとり絵本は、絵から絵へ、ページをめくって繋がる絵を見つけていきます。最後のページまでいっても、また最初のページに戻ればしりとりの続きが始まります。何度でも繰り返し遊べ、字の読めない小さな子から幅広い世代で楽しめる絵本。</p>

小学校3年生の部	きけんなゲーム [文研出版] 1,430円 マロリー・ブラックマン(作) 佐竹 美保(絵) <p>生まれつきの病気があるサムは、学校のみんなと同じことができない。そんな中、ついにサムは両親から林間学校に参加する許可をもらう。ところが、サムのチームのトレッキングルートが書き換えられてしまう。困難に立ち向かう勇気が湧く本。</p>	お話のたぎぎをあつめる人 魔法の図書館の物語 [徳間書店] 1,540円 ローレンティン 紀&パウル・ヴァン・ローン(作) 佐竹 美保(絵) <p>ステレは本が大好きな女の子。でも本はたった1冊しか持っていなかった。何度も読んで本がバラバラになってしまいステレは悲しむ。そこでおじいちゃんが「お話の図書館」について教えてくれて、その図書館を見つけようとするが…。</p>
	日本のことばずかん そら [講談社] 2,750円 神永 暁(監修) <p>「山笑う」「望月」「いわし雲」などの、雨・月・雲といった「空」にまつわる言葉が集まった本。和歌や俳句、童話などで実際に使われている言葉が、美しい写真と共に紹介されているので、言葉のイメージがもちやすい。</p>	

小学校1年生の部	さくららら [アリス館] 1,540円 升井 純子(文) 小寺 卓矢(写真) <p>日本一遅く咲く桜「千島桜」のさくらちゃんが、5月末に満開となった写真と共に「わたしが咲く日はわたしが決める おそくたってこれがわたし ちいさくたってこれがわたし」。「私らしさ」を貫いた心意気が晴れやかに伝わってくる写真絵本。</p>	ゆきのようせい [岩崎書店] 1,540円 松田 奈那子(作) <p>雪虫は、北海道に住む子どもたちにとって、冬を知らせる虫として馴染みのある虫です。冬の訪れを迎える朝、冷たい空気に包まれ白くてゆっくりふわりと舞う神秘的な雪虫を、北国の生き物たちや身近な景色とともに優しく描く絵本。</p>
	きたきつねと はるのいのち [絵本塾出版] 1,870円 手島 圭三郎(絵・作) <p>まだ雪深い3月、キタキツネが生まれたばかりの子どものために餌を探しに出かけると、たくさんの動物たちが生き生きと動き回る姿があった。そこには厳しい自然の中で力強く生き抜く動物の姿がダイナミックに描かれ、生きる幸せや喜びを感じる絵本。</p>	ねむろんろん [新日本出版社] 1,650円 村中 季衣(文) こしだ ミカ(絵) <p>大漁旗、ゴマフアザラシ、渡り鳥…。自然豊かな根室で力強く生きる人々と生き物が多岐に渡って力強く描かれています。かるた仕立ての構成で、読みやすい言葉回しに「ねむろんろん、ねむろんろん」とリズムが楽しい、声に出して読みたくなる絵本。</p>

小学校4年生の部	クマが出た!助けて!ベアドッグ クマ対策犬のすごい能力 [岩崎書店] 1,430円 太田 京子(著) <p>クマを殺すためではなく、救うために働いてもらおうと訓練された「ベアドッグ」。軽井沢のNPO法人ピッキオの、人もクマも傷つけないこと、森の奥へと追い返すベアドッグとハンドラーの取り組みを追う。</p>	命を救う心を救う 途上国医療に人生をかける小児科医「ジャパンハート」吉岡秀人 [佼成出版社] 1,650円 ふじもと みさと(文) <p>NPO法人「ジャパンハート」の創設者である小児科医吉岡秀人氏は、「医療のとどかないところに医療をとどける」という目標をかける。病気だけではなく、患者や家族の心も救おうと日々奮闘していることが伝わってくる、東南アジアでの医療活動の記録。</p>
	レッツ キャンプ [佼成出版社] 1,430円 いとう みく(作) 酒井 以(絵) <p>小学4年生の晴斗は「新しいお父さん」とキャンプに行くことに。しかし、テント設営、釣り、料理と失敗ばかりの二人は、一組の親子に何度も助けられる。その親子の複雑な事情を知ったとき、晴斗は「父と子」について考え始める。</p>	体育がある [文研出版] 1,430円 村中 季衣(作) 長野 秀子(絵) <p>小学4年生のあこは体育が嫌い。そんなあこにママはせっせと練習させる。母の期待は分かるものの応えることができない。そんなとき、あこを分かってくれるあばがやってくる。最後まであきらめないことの大切さを感じられる本。</p>

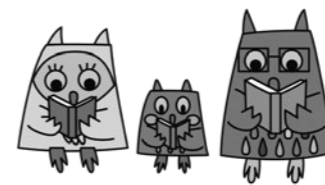
小学校2年生の部	ぼくは川のように話す [偕成社] 1,760円 ジョーダン・スコット(文) シドニー・スミス(絵) <p>吃音をもつカナダの詩人が、実体験をもとに、少年の吃音ゆえのもどかしさや劣等感、重たい気持ちを繊細に描いています。美しい川の光景と父親の言葉「川のように話す」に、「僕」が救われ生まれ変わる瞬間が瑞々しく、未来に希望を感じさせる絵本。</p>	すみれちゃんと ようかいばあちゃん [新日本出版社] 1,430円 最上 一平(作) 種村 有希子(絵) <p>山また山のその先に住んでいる「ようかいばあちゃん」の家に、ひ孫のすみれちゃんが一人でお泊りにやって来ます。生活の知恵や自然への畏敬の念があるばあちゃんの暮らしは、まるで昔話のような摩訶不思議に満ちており、わくわくする体験を楽しむ童話。</p>
	めぐり めぐる [ポニョニープレス] 1,870円 ジーニー・ペイカー(作) <p>9日間もの間、昼も夜も休むことなく飛び続ける渡り鳥オオソリハシギは、日本にも渡来します。この小さな渡り鳥の姿を、自然素材を用いた精巧なコラージュで美しく描いています。干潟の問題にも触れながら、少年の姿に未来への希望も感じられる絵本。</p>	会いたくて 会いたくて [小学館] 1,320円 室井 滋(作) 長谷川 義史(絵) <p>小学生のケイちゃんは、施設にいるおばあちゃんに会いたくて、こっそりと訪れます。ひたすらにまっすぐな「会いたい」思いに、おばあちゃんは糸電話を使って「昔のこと」を話し、「大丈夫、心は繋がっているからね」と温かなメッセージを伝えてくれる絵本。</p>

小学校5年生の部	五七五 ぼくのとよりははブラジル人 [文研出版] 1,540円 万乃華 れん(作) 黒須 高嶺(絵) <p>隣の席のウララは、言葉や考え方、文化が違うブラジル人。町内会では町のやっかい者とされているが、彼女やその家族たちと関わることで、5年生のあさひは「その人を知ると良さや共通点が見えてくる。人として平等に友達になれる」ということを経験していく。</p>	馬と明日へ [ポプラ社] 1,650円 杉本 りえ(作) 結布(絵) <p>小6の悠斗は、馬に乗って障害物を越える競技会に出るため、日々練習をしている。ある日、同じ小学校の5年生が入会してくるが、ちっとも馬に乗ろうとしない。そんな矢先に悠斗にショックな出来事が起きて…。さわやかで心あたたまる友情の物語。</p>
	天の台所 [講談社] 1,540円 落合 由佳 <p>大切な人を亡くし、流れるように過ぎていく日々を過ごす天、陽、光の3兄弟。ひょんなことから近所の「がみババ」に長男の光が料理を教わることになる。離れていた心が料理を通してひとつとなり、家族が立ち直っていく成長物語。</p>	蛾 姿はかわる [化学同人] 2,090円 イザベル・トーマス(文) ダニエル・イグナス(絵) <p>産業革命期のイギリスで環境の変化に適應して生き抜いている蛾『オオシモフリエダシヤク』を美しい絵で紹介している。ただ、「すごい」で終わるのではなく、進化、適應、環境問題、歴史など、様々な視点から考えるきっかけをあたえてくれる1冊。</p>

めねぎのうえんのガ・ガ・ガン! [合同出版] 1,980円 多屋 光孫(文・絵) <p>芽ねぎ農園に、障害のある生徒を働かせてほしいと先生がやって来てからの日々を描いています。実話をもとに、障害とは何か、共に生きる社会とは何か、互いに認め合うとは何かを子どもたちと一緒に考え、見方や考え方を考えるヒントがたくさん詰まった絵本。</p>	北海道「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」 <p>学校での朝の読書や家庭での読書を通じた子どもたちの読書習慣の定着を図るため、北海道「朝読・家読運動」のイメージキャラクターとして誕生しました。本から心の栄養をたっぷり吸収し、めがねがハート型になっています。</p>
--	---

ぼくの弱虫をなおすには [徳間書店] 1,760円 K. L. ゴーイング(作) 早川 世詩男(絵) <p>いじめっこの上級生と同じ校舎になるのが怖いので、5年生に進級したくないゲイブリエル。親友のフリーターと協力して弱虫をなおす作戦を考えるが…。1976年のアメリカを舞台に偏見や人種差別の問題にも触れる、子どもの成長に心が熱くなる物語。</p>	黄色い星 ユダヤ人を守った国王と デンマークの人たちの物語 [BL出版] 1,760円 カーメン・アグラ・ディーディ(文) ヘンリー・ツレンセン(絵) <p>「ユダヤ人は全員黄色い星を付けなければならぬ」第二次世界大戦でナチスの命令がくだった時、国民を守るためにデンマーク国王クリスチャン10世がとった行動は?伝説をもとに描いた国王と国民を描いた物語。現代にもつながる1冊です。</p>
---	--

令和4年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録 (46冊)



公益財団法人 北海道青少年育成協会
 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
 TEL.(011)231-6451 FAX.(011)231-6457
 ホームページ: <http://www.ikuseikyjo.jp/>
 Eメール: youth@ikuseikyjo.jp

中学生の部Ⅰ	みつばちと少年 村上 しいこ [講談社] 1,540円 	エレキテルの謎を解け 電気を発見した技術者 平賀源内 鳴海 風 [岩崎書店] 1,760円
	集団の中でうまくやっていけない松井雅也は、中学1年生の夏休みを利用して、養蜂場で働くおじさんのいる北海道へ行くことになった。雅也は、寝泊まりすることになった「北の太陽」という家で過ごすなかで、様々な経験を通して考え成長していく。	少年時代から素晴らしい才能を見せてきた平賀源内は、25歳の時に長崎で出会ったオランダ人の操る(しびれる箱)の仕組みを長い年月をかけて、ついに解き明かす。江戸の才人平賀源内の熱情と格闘の人生を「エレキテル」の図とともに描く歴史小説。
チェスターとガス ケイミー・マガヴァン [小峰書店] 1,650円 	橋の上の子どもたち バドマ・ヴェンカトラマン [講談社] 1,650円 	父親の暴力、それを受け入れる母。そんな家族から逃げるために、障害を持つ姉とともに家を出た11歳の少女・ヴィジ。橋の上に防水シートで作った家に住む少年たちと知り合い、生きるすべをみつけてたくましく生きていく。インドを舞台とした物語。
テストに通らず、補助犬になれずにいたチェスターは、自閉症の少年ガスが暮らす家に迎えられることになった。何とかガスの助けになりたいと願うチェスターだが、なかなかうまくいかない。落ちこぼれチェスターの視点から描く、密やかな友情の物語。	母がロシア人の藤堂ミハイル、中学2年生は、小学生のころの経験から目立たないように生きてきた。ある日、父がアメリカ人の山口アビゲイル葉奈が転校してきた。彼女はものおじない性格で、オタク的に「蟲」が大好きなため、騒動を引き起こしていく。	

中学生の部Ⅱ	マイブラザー 草野 たき [ポプラ社] 1,650円 	セカイを科学せよ! 安田 夏菜 [講談社] 1,540円
	家族の事情をきっかけに、志していたエリート中学の受験を諦めた中学2年生・海斗は、5歳児の弟・総也の面倒をみるイクメンライフに没頭していた。悩みをもっているのは自分だけ、と思っていた海斗だが、やがて周囲の人びとに目が向いていくようになる。	母がロシア人の藤堂ミハイル、中学2年生は、小学生のころの経験から目立たないように生きてきた。ある日、父がアメリカ人の山口アビゲイル葉奈が転校してきた。彼女はものおじない性格で、オタク的に「蟲」が大好きなため、騒動を引き起こしていく。
そらのことが降ってくる 保健室の俳句会 高柳 克弘 [ポプラ社] 1,540円 	あしたの幸福 いとう みく [理論社] 1,540円 	父の死後、親戚の家に行きたくない雨音は、幼い頃に家を出た産みの母と同居することにした。生前の父が「ユニークな人」と言った国吉さんの言動に戸惑うなか、父の婚約者の帆波さんとも同居することになる。雨音は人の思いを知り、成長していく。
中学2年生になって久しぶりに保健室に行ったソラは、風変わりな同級生ハセオに会いナゾクという俳句遊びに誘われる。ハセオの熱意に巻き込まれ、次第に俳句に興味をもちはじめたソラ。養護の北村先生と三人での俳句会を始め、新たな仲間も加わっていく。	父の死後、親戚の家に行きたくない雨音は、幼い頃に家を出た産みの母と同居することにした。生前の父が「ユニークな人」と言った国吉さんの言動に戸惑うなか、父の婚約者の帆波さんとも同居することになる。雨音は人の思いを知り、成長していく。	

中学生の部Ⅲ	未来の医療で働くあなたへ 奥 真也 [河出書房新社] 1,562円 	ミカンの味 チョ・ナムジュ [朝日新聞出版] 1,760円
	医学・医療はすごい勢いで進歩している。ロボットと共に働くことが当たり前になる未来の医療現場について、医療未来学者である著者が、進歩する医療を紹介しこれからの医師を目指す心構えや進路について語る。	中学校の映画サークルで出会ったソラン、ダユン、ヘイン、ウンジは「いつも一緒にいる四人」として知られている。中学3年生になる直前、済州島で一つの約束を交わし、タイムカプセルに入れて埋める。現代の韓国の少女たちの姿を描いた作品。
	ルーパートのいた夏 ヒラリー・マッカーイ(作) [徳間書店] 2,200円 	二十世紀初めの英国。生後3日で母を亡くした女の子クラリーと兄ピーターは、父と三人で暮らしていた。コーンウォールの祖父の家でいとこのルーパートと過ごす夏はすばらしく、クラリーはルーパートに淡い想いを抱くようになる。少女の成長を描いた作品。

高校生・青年の部	廃炉「敗北の現場」で働く誇り 稲泉 連(著) [新潮社] 1,760円 	京大おどろきのウイルス学講義 宮沢 孝幸(著) [PHP研究所] 1,023円
	世界で初めてメルトダウンした東京電力福島第一原発事故。その廃炉作業の現場で働く様々な役割の多くの人々。先が見通せない、前例のない作業へ挑む日々は、時に怯み、立ちすくむ。外には見えず、年月とともに忘れられがちな廃炉作業に迫るドキュメンタリー。	ペットの犬や猫が媒介するウイルスは、変異することで人間社会を脅かす可能性がある。しかし、哺乳類の進化を助けたウイルスもまたあるのである。我々の命と社会に深く関わっているウイルスとは一体何なのか。その知られざる驚きの正体を多方面から解説する。
	ブラザーズ・ブラジャー 佐原 ひかり(著) [河出書房新社] 1,672円 	父の再婚で一人っ子の高校生の私に中学生の弟が出来た。ある日、彼がブラジャーを身につけている姿を目撃する。それって、もしかして、LGBTってこと?エッ、違うの!?!じゃあ何よ。迷いながら、ぶつかり合いながら、認め合い、姉弟に向かって歩き始める物語。

高校生・青年の部	挑発する少女小説 齋藤 美奈子(著) [河出書房新社] 946円 	李王家の縁談 林 真理子(著) [文藝春秋] 2,090円
	「小公女」「赤毛のアン」「ハイジ」等々、世界中の少女たちが夢中で読んだ物語。そのヒロインたちは優しく健気なだけでなく、闘う少女たちでもあった。時代を超える不滅の物語は、いつの時代の読者にも寄り添う社会性と価値観を内包している物語でもある。	梨本宮家・伊都子妃は、娘を皇太子(昭和天皇)妃にと考え期待もしていた。しかし、道は閉ざされてしまった。そこで何と、朝鮮の李王家へ嫁がせることを考える。宮妃の現存する日記をもとに紡がれる、やんごとなき方々の婚姻と歴史に翻弄された人々の物語。
	わたしは「セロ弾きのゴーシュ」～中村哲が本当に伝えたかったこと 中村 哲(著) [NHK出版] 1,760円 	ソ連兵へ差し出された娘たち 平井 美帆(著) [集英社] 2,090円
	2019年、アフガニスタンで65万人の人々の命をつなぐ活動中の医師・中村哲さんが凶弾に倒れた。生前にNHK「ラジオ深夜便」で語っていた肉声を書籍化。自身の活動については多くを語ることはなかった彼の信念、思い、心の内を知ることで出来る貴重な記録。	1945年8月ソ連の対日参戦により、満州国は崩壊し、日本人の引き揚げは困難を極めた。その中で集団の安全のために考え出された方策とは。未婚の若い女性を「接待」の名目でソ連兵へ差し出すことであった。戦時下の性暴力の実態を追った衝撃のノンフィクション。
同志少女よ、敵を撃て 逢坂 冬馬(著) [早川書房] 2,090円 	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2 プレイデー みかこ(著) [新潮社] 1,430円 	
第二次世界大戦の独ソ戦。母を無惨に殺された少女は女性だけの狙撃隊へ入る。厳しい訓練後戦場へ。善悪だけでは計れない世界で、彼女たちは女性兵士への蔑視と暴力にも直面する。仲間への信頼を力に戦場を駆ける壮絶な日々と、戦後の生き方を描く圧倒的物語。	13歳の毎日は職業体験、社会問題への関心、進学ガイダンス、レポートにプレゼンと忙しい。日々の出来事は彼を考えさせ、喜ばせ、涙させる。友人たちと大人たち、日本への旅とすべての関わりと体験が思春期への扉を開く。次の世界へ踏み出した彼と家族の物語。	

※掲載されている書籍の価格は税込価格です



(C)H.N.F.

北海道日本ハムファイターズでは、2014年から行っている読書促進全道キャンペーン「クラブを本に持ちかえて」の一環で、株式会社パイロットコーポレーションご協賛のもと、「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンを実施します。小学生を対象に夏休み期間前後で、目標冊数(1・2年生=10冊、3・4年生=8冊、5・6年生=6冊)を読み終えた児童にPILOT製「ファイターズロゴ入りシャープペンダクター・グリップ」がプレゼントされるほか、希望者には、札幌ドームでの公式戦に150組600名が招待されます。本を選ぶ際には、「北海道青少年のための200冊」を参考にしてください。
 (申込期限=7月31日まで 詳しくは球団サイトをご覧ください。)

「北海道青少年のための200冊」選定の柱

- 1 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
- 2 人間の幸せに貢献する科学に尽くそうとする心を育てるために。
- 3 平和を愛し、幸福な社会をつくろうとする心を育てるために。
- 4 人間の尊さを守ろうとする心を育てるために。
- 5 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。

【200冊はどうやって選ばれたの?】
 北海道青少年育成協会が委嘱する北海道学校図書館協会選定部の先生方が、毎月2回実施している選定会の中で読んだ多数の作品から厳選したものです。

【どのように活用されているの?】
 ①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本の紹介として児童生徒へ配布 ②公立図書館では200冊の資料展示 ③「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンなど幅広く活用されています。また、小・中・高等学校や教育関係機関のホームページでも紹介されています。